

# 令和8年度 学校マネジメントシート

学校名( 三重県立久居農林高等学校 )

## 1 目指す姿

(1)目指す学校の姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業と家庭の専門性を生かし、地域社会を担う将来のスペシャリストを育成する学校</li> <li>・ 「生物」「環境」「生活」の情報発信基地として、地域に貢献する学校</li> </ul>
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的に活動できる生徒</li> <li>・ 社会貢献に意欲的に取り組む生徒</li> <li>・ 自他の人権と尊厳を尊重する生徒</li> <li>・ 自己の成長を実感し、高い自己肯定感を持つ生徒</li> <li>・ 将来の地域を担い、地域のリーダーとなる意欲を持った生徒</li> </ul>
	ありたい教職員の姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動や取組の意義・目的を常に意識し、「チーム農林」で取り組む教職員</li> <li>・ 教科や分掌の専門性を高め、改善活動に取り組む教職員</li> <li>・ 生徒の成長に喜びを感じながら丁寧かつ柔軟に生徒の支援や指導に取り組む教職員</li> <li>・ 人権問題に対する正しい認識を持ち、自他の人権と尊厳を尊重する生徒の育成に取り組む教職員</li> </ul>

## 2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要望・期待	<p>&lt;生徒&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安心安全で楽しく過ごせる学校</li> <li>・ 自他が大切にされていると感じられる学校</li> <li>・ わかりやすい授業</li> <li>・ 進路希望の実現</li> </ul> <p>&lt;保護者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの成長を支える学校</li> <li>・ 安心・安全に学べる学校</li> <li>・ 信頼して任せられる学校</li> <li>・ 確かな学力の定着と進路希望の実現、卒業後のケア</li> <li>・ 職業観・勤労観および基本的な生活マナーの定着</li> </ul> <p>&lt;地域住民・産業界&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開かれた学校</li> <li>・ 地域を担い、リードする人材を育てる学校</li> <li>・ 基本的な生活マナー、基礎学力の定着</li> </ul>	
	(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p>連携する相手からの要望・期待</p> <p>&lt;保護者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要な情報の提供</li> <li>・ 相談しやすい環境と関係の構築</li> <li>・ 指導の意図や方針の説明</li> </ul> <p>&lt;地域住民・産業界&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育資源の提供</li> <li>・ 連携の強化と情報共有</li> </ul> <p>&lt;近隣保・幼・小・中・高校等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育資源の提供</li> <li>・ 連携の強化と情報共有</li> </ul>

<p>(3)前年度の学校関係者評価など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公開授業の際、見学者が見学しやすいよう、扉を開けておくなど環境づくりが必要である。</li> <li>・ 公開期間を3日間などに限定することで、見学者の分散が避けられるのではないかと。また、この期間に研究授業を行っても良いのではないかと。</li> </ul> </li> <li>○生徒指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「いじめを許さない学校づくり」に向けて、日々、教員がアンテナを高くして生徒に接することが大切である。</li> <li>・ 中学校では、不登校生徒の居場所として、校内教育支援センターが機能している。高校では難しいかも知れないが、中学校での取組を知っておいてほしい。</li> <li>・ 様々な活動を通して、人から必要とされる実感の持てる経験をさせてほしい。</li> </ul> </li> <li>○社会貢献意欲・自己肯定感の醸成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会貢献意欲の醸成には地域ニーズを発見しようとする姿勢や、ボランティア活動への参加などが必要であり、その視点で今後の取組を考えてほしい。</li> <li>・ 榊原地域との連携について、高校生は地域住民以上に地域のことを考えてくれている。引き続き地域振興に協力して欲しい。</li> </ul> </li> <li>○情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インスタグラムの若者へのPR効果は有効。制限がかかる中でも、できることはある。今後も発信し続けてほしい。</li> <li>・ 保護者の学校に対する評価が低いことがある。学校と保護者のギャップを縮めるためにも情報発信は必要である。中学校では「子どもは家庭への広告塔」との意識で取り組んでいる。</li> </ul> </li> <li>○働きやすい職場環境づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議における終了時刻の目安の明示や資料の事前配付などを行うことで、会議の時間短縮を図って欲しい。</li> </ul> </li> </ul>
<p>(4)現状と課題</p> <p style="text-align: center;">教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ わくわく農林塾や地域連携の取組は、生徒の学びの深化や学校の魅力発信につながっている。引き続き内容の充実を図る必要がある。</li> <li>・ 主体的・対話的で深い学びや授業の振り返り、生活や将来に結びついた学びの更なる充実が必要である。</li> </ul> </li> <li>○キャリア教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進路ガイダンスの充実を図っている。今後、生徒が日頃からビジネスマナーの基本をより一層身につけられるようにする必要がある。</li> <li>・ 教育活動全体を通して、職業生活や社会生活の基盤となる力の育成を継続的に図る必要がある。</li> </ul> </li> <li>○生徒指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不登校傾向やヤング・ケアラーなど、生徒一人一人の事情に配慮する必要があるものの、遅刻を繰り返す生徒への対応は課題の一つである。個別の状況に応じて時間を大切にする意識の醸成を図るとともに、教員が授業を大切に、生徒の学ぶ意欲を高める指導を進める必要がある。</li> <li>・ 昨年度に実施した学校生活アンケートでは、生徒及び保護者、教員のいずれにおいても、生徒指導のルールに対する肯定的な回答が他の項目と比べて少なかった。生徒の状況や社会の変化を踏まえた指導や、学校全体で統一した指導がさらに進むよう、必要に応じて指導方法等を改善する必要がある。</li> <li>・ 日々の清掃を徹底し、環境整備を行うとともに、挨拶や言葉遣いの指導を充実させるなど、授業規律の徹底や落ち着いた学習環境づくりを進める必要がある。</li> </ul> </li> <li>○保健管理の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保健室は話しにくいことを相談する場所になることが多い。生徒の心とからだの健康により一層寄り添っていくとともに、安心して話すことができる環境を整える必要がある。</li> </ul> </li> </ul>

	学校運営等	<p>○組織運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校の在り方や方針等を検討する過程において、適切に情報共有を行うとともに、「新しい久居農林」を創るという共通認識のもと、学校改革や改善活動に学校全体で取り組んでいく必要がある。また、生徒・保護者・地域、教職員の意見を把握し、学校運営に反映する必要がある。</li> </ul> <p>○資質向上の取組、信頼される学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種研修について、回数の確保だけでなく、現時点の課題に即した内容とし、教職員が研修成果をより実感できるよう工夫する必要がある。</li> </ul> <p>○情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学生やその保護者、地域社会に対して本校の良さをよりの確に伝えていくことが重要な課題の一つである。他校の取組を参考にしながら、魅力的な発信に努める必要がある。</li> </ul> <p>○働きやすい職場環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度に実施した教職員アンケートでは、業務分担の在り方や業務量に関する肯定的な回答が他の項目に比べて少なかった。定時退校の促進や会議時間の縮減に向けた意識の共有とあわせて、業務内容の見直しや役割分担の工夫による業務の平準化を進める必要がある。</li> </ul>
--	-------	---

### 3 中長期的な重点目標

<p>教育活動</p> <p>【カリキュラム・ポリシー】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒自らの学ぼうとする意欲を高めるため、生徒が課題を設定し解決する学習活動を推進する。</li> <li>・ 生徒の確かな学力の向上を図るため、教員が積極的に授業改善を進め、「わかる授業」「興味を喚起する授業」「生活や将来に役立つと感じられる授業」を行う。</li> <li>・ 生徒の進路希望を実現するため、組織的に進路指導を進める。また、あらゆる教育活動をキャリア教育の視点で捉え、就職・進学の見据えた進路指導を推進する。</li> <li>・ 生徒が農業クラブや家庭クラブの活動を通して探究活動を行い、学習成果の発表や意見交換をする場に積極的に参加できるよう支援する。</li> <li>・ 大学や産業界等と連携した実践的な職業教育を推進し、本県の産業界で活躍する人材を育成する。</li> </ul>
<p>学校運営等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「夢と感動の実現」を合言葉に、教職員自ら研修し、学習内容の充実や学力向上につながる授業改善に努める。</li> <li>・ 不祥事等を絶対に起こさないよう、「信頼される学校であり続けるための行動計画」にもとづき、全教職員でより一層地域に信頼される学校づくりに取り組む。</li> <li>・ 教職員が業務に充実感を得られるよう、互いに認め協力し合い共に働ける「チーム農林」を進める。</li> <li>・ 学校の課題や情報を共有し、継続的に改善するための仕組みが機能するようにする。</li> </ul>

### 4 求める生徒像

<p>入学時に期待される生徒の姿</p> <p>【アドミッション・ポリシー】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 強い志をもち、学習に意欲的・継続的に取り組むとともに、その学習を生かした資格取得などに積極的に挑戦しようとする生徒</li> <li>・ 高校で学習する専門的な内容等を生かした進路実現を果たそうとする生徒</li> <li>・ 部活動や生徒会活動、ボランティア活動等に積極的に取り組める生徒</li> </ul>
--	---

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の充実	(1)生徒が主体となる授業の実践 【活動指標】 ・わくわく農林塾:各コース2回以上 【成果指標】 ・事後アンケートで自分の成長を感じたと回答した生徒の割合:90.0%以上 (2)生徒が主体的に取り組める授業づくり 【活動指標】 ・教科やコース等における授業見学:一人1回以上 ・悉皆研修対象教員による公開授業の実施 【成果指標】 ・生徒向けの授業アンケートで、授業が主体的・対話的な学び、生活や将来に結びついた学びにつながっていると回答した生徒の割合:90.0%以上	(年度末および適宜記載)	◎
キャリア教育の充実	(1)進路ガイダンスの充実 【活動指標】 ・進路ガイダンス:各学年2回以上 【成果指標】 ・それぞれの進路ガイダンスにおける生徒満足度:95.0%以上 (2)主体的に進路を選択し実現する力の育成 【活動指標】 ・インターンシップ:1回以上 ・担任面談:随時 ・就職実現コーディネーターの活用促進 ・進路ガイダンス:各学年2回以上 ・履歴書、志望理由書、面接等の指導:随時 【成果指標】 ・年内に就職が内定した生徒の割合:95.0%以上 ・第一希望の大学・短期大学に合格した生徒の割合:95.0%以上	(年度末および適宜記載)	◎
生徒指導の充実	(1)服装・頭髪等の身だしなみ指導の徹底 【活動指標】 ・頭髪・服装指導:年6回 【成果指標】 ・頭髪再指導者の割合:5.0%以内(年度最終) (2)いじめを許さない学校づくり 【活動指標】 ・ラポール(いじめ)アンケート:年間3回 ・面談週間:年3回 【成果指標】	(年度末および適宜記載)	◎

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめ解消率:100%</li> <li>(3)規則正しい生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>【活動指標】</li> <li>・規則正しい生活習慣を身につけるための指導: 随時</li> <li>【成果指標】</li> <li>・学校全体の遅刻の総数:1,000回未満</li> <li>・遅刻10回以上の生徒:20人未満</li> </ul> </li> <li>(4)校則の検証・見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>【活動指標】</li> <li>・生徒・教職員等の意見聴取・協議:年3回</li> <li>【成果指標】</li> <li>・生徒及び教職員アンケートで、「生徒指導のルールは適切である」と回答した割合: <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒 85.0%以上</li> <li>教職員 70.0%以上</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(5)環境美化の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>【活動指標】</li> <li>・日々の清掃活動を中心とした環境美化の徹底</li> </ul> </li> </ul>		
<b>保健管理の充実</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)健康管理の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>【活動指標】</li> <li>・生徒自身が健康状態を把握し、健康の保持増進の意識を高めるための健康管理に関する指導:随時</li> <li>・すぐーる・google classroom 等を利用した生徒・保護者へのたよりの配信:年12回以上</li> <li>【成果指標】</li> <li>・すべての検診を受診した生徒の割合:100%</li> <li>・保護者アンケートで、「健康管理や健康相談等、安心して学校生活を送れる配慮がされている」について肯定的な回答をした保護者の割合: <ul style="list-style-type: none"> <li>85.0%以上</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(2)相談活動による生徒の不安解消に向けた支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>【活動指標】</li> <li>・SCIによる相談:50件以上</li> <li>・高校生活スペシャルマネージャーとの相談: <ul style="list-style-type: none"> <li>12回以上</li> </ul> </li> <li>【成果指標】</li> <li>・保護者アンケートで、「健康管理や健康相談等、安心して学校生活を送れる配慮がされている」について肯定的な回答をした保護者の割合(再掲): <ul style="list-style-type: none"> <li>85.0%以上</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(3)命とからだを大切にする心を育む教育活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>【活動指標】</li> <li>・生徒向け研修会等:各学年1回以上</li> <li>【成果指標】</li> <li>・事後アンケートで満足と回答した生徒の割合: <ul style="list-style-type: none"> <li>95.0%以上</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<p>(年度末および適宜記載)</p>	<p>◎</p>
改善課題			
(年度末に記載)			

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標とします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標とします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
組織運営	<p>(1)教職員の意見をもとにした業務改善の実施</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務改善提案:年1回(10月末)</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提案を踏まえた改善及び改善に向けた検討: 100%</li> </ul> <p>(2)対話を通じた協働の基盤づくり</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職による中間面談等積極的な対話機会の創出</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員アンケートで、「自分の意見や考えを発信できる雰囲気がある」と回答した教職員: 75.0%以上</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	◎
資質向上の取組、信頼される学校づくり	<p>(1)指導力の向上</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導や教科指導に係る研修、コンプライアンス研修、人権研修等:各学期1回以上</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事後アンケートで満足と回答した教職員の割合: 85.0%以上</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	
情報発信	<p>(1)積極的な情報発信</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校HPの更新:随時</li> <li>・Instagramによるフォロアー数: 2,000件以上</li> <li>・学校のPR(新聞報道、テレビ等):20件以上</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートで、「HP等により学校の様子が伝わってきた」と回答した保護者の割合: 80.0%以上</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	
働きやすい職場環境づくり	<p>(1)総勤務時間の縮減</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設定した日の定時に退校できた教職員の割合: 100%以上</li> <li>・予定通り休養日を実施できた部活動の割合: 100%以上</li> <li>・放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合:100%以上</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外在校等時間が年360時間を超える教職員数:0人</li> <li>・時間外在校等時間が月45時間を超える教職員の</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	※

